

LIXIL

ステンシャインⅢ (両引きタイプ 特注用)

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<労働安全のお願い>



注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 扉走行床面は水平に仕上げてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 施工時には、水糸等を用いて柱とレールの位置を決めてください。

■梱包明細表

【1】 本体セット

名 称	略 図	員 数
引戸本体		1
落とし棒受け		1

【2】 門柱セット

名 称	略 図	員 数
ガイド柱		2
キャッチ		1
ガイドローラーカバー		2
【2-1】 φ4×10トラス タッピンネジ3種 D=8		4
【2-2】 φ4×10トラス タッピンネジ2種 D=8		8



【3】 脱輪防止部品セット

名 称	略 図	員 数
戸車ストッパー		1
戸車ガイド		2
戸車リアストッパー		1
グリップアンカー		10
【3-1】 M6×16六角ボルト(SW)		10
【3-2】 M6平座金		10








【4】 部品セット

名 称	略 図	員 数
錠ケース		1
ストライク(両引き用)		1
シリンダー		1
ハンドル(可動)		1
ハンドル(固定)		1
目隠し台座		1
キー		3
【4-1】 M4×12サラ小ネジ		4
ガイド柱用レールアンカー		2
レールアンカー		10
レール連結金具		6
框キャップ		2
ストッパー付き框キャップ		2

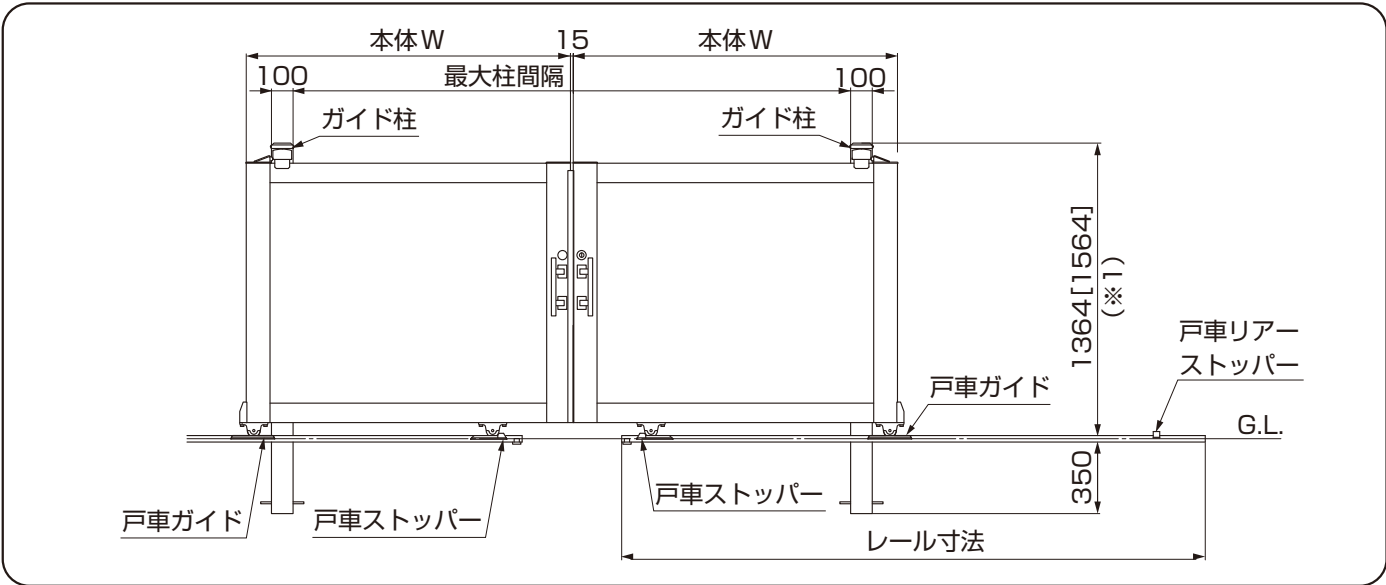
【4】 部品セット (つづき)

名 称		略 図	員 数	名 称		略 図	員 数
枠キャップ固定用穴隠しキャップ			4	アンカー棒φ8×200		2	
樹脂キャップ			2	【4-7】 M5×16ナベ小ネジ(SW)		16	
ガイドローラー安全カバー			4	【4-8】 M4×15サラ小ネジ		4	
ガイドローラーセット	ガイドローラー用ローラー		8	【4-9】 M4×15ナベ小ネジ		4	
	【4-2】 ローラー軸		8	【4-10】 M4バネ座金		4	
	【4-3】 M10六角ナット		8	【4-11】 φ4×10トラス タッピンネジ2種		8	
	【4-4】 M10小形六角ナット		8	取付説明書	—	1	
	【4-5】 M10平座金		16	取扱説明書	—	1	
	【4-6】 M10バネ座金		8				

【6】 レールセット

名 称	略 図	員 数						
		15	20	25	30	35	40	45
L=1350		4	—	—	—	—	—	—
L=1500		—	—	—	—	—	—	4
L=1850		—	4	—	—	—	—	—
L=2350		—	—	4	—	—	—	—
L=2850		—	—	—	4	—	—	4
L=3350		—	—	—	—	4	—	—
L=3850		—	—	—	—	—	4	—

1. 各部の名称 ※図はH12寸法です。[]内寸法はH14の場合です。



2. レール組付図

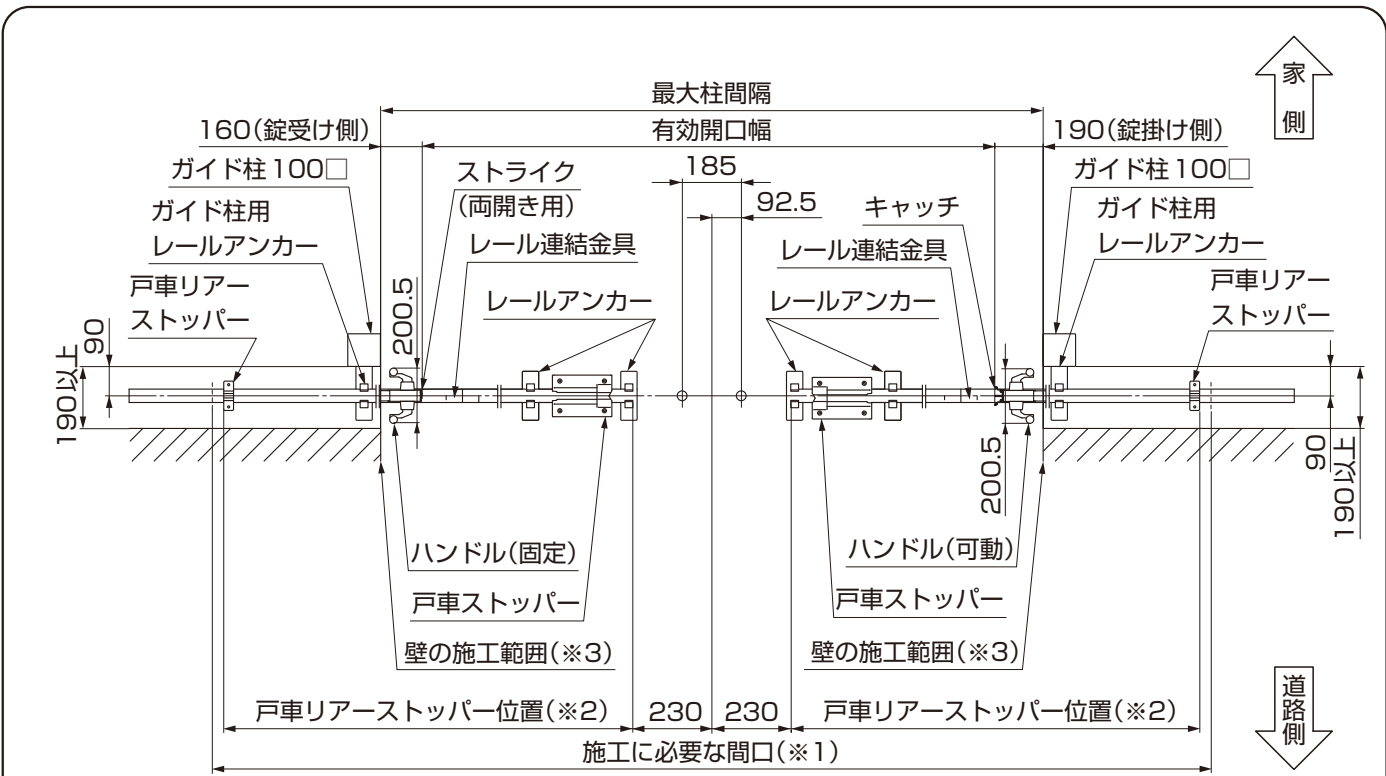


表2-1 寸法表

名称	施工に必要な間口	有効開口幅	最大柱間隔	戸車リアーストッパー位置
15+15	5410	2229	2579	2469
20+20	7410	3229	3579	3469
25+25	9410	4229	4579	4469
30+30	11410	5229	5579	5469
35+35	13410	6229	6579	6469
40+40	15410	7229	7579	7469
45+45	17410	8229	8579	8469

ポイント

- 35+35サイズ・40+40サイズ・45+45サイズは、70角着脱式補助柱仕様になります。補助柱の施工方法は、補助柱内の施工図を参照してください。
- 壁の施工はガイド柱の位置までにしてください。ガイド柱より戸当り側方向へ施工すると、ハンドルが干渉します。(※3)

補足

- 40+40を超えるサイズは、H型のみになります。
- 施工に必要な間口は、引戸本体を全開にし、引戸の後車輪が戸車リアストッパーに当たったときの、引戸最後端までの距離を示します。(※1)
- 戸車リアストッパー位置は最大柱間隔で施工したときの目安の位置です。戸車リアストッパーは引戸本体の設置後、正確な位置に施工してください。(※2)

3. レールの取付け

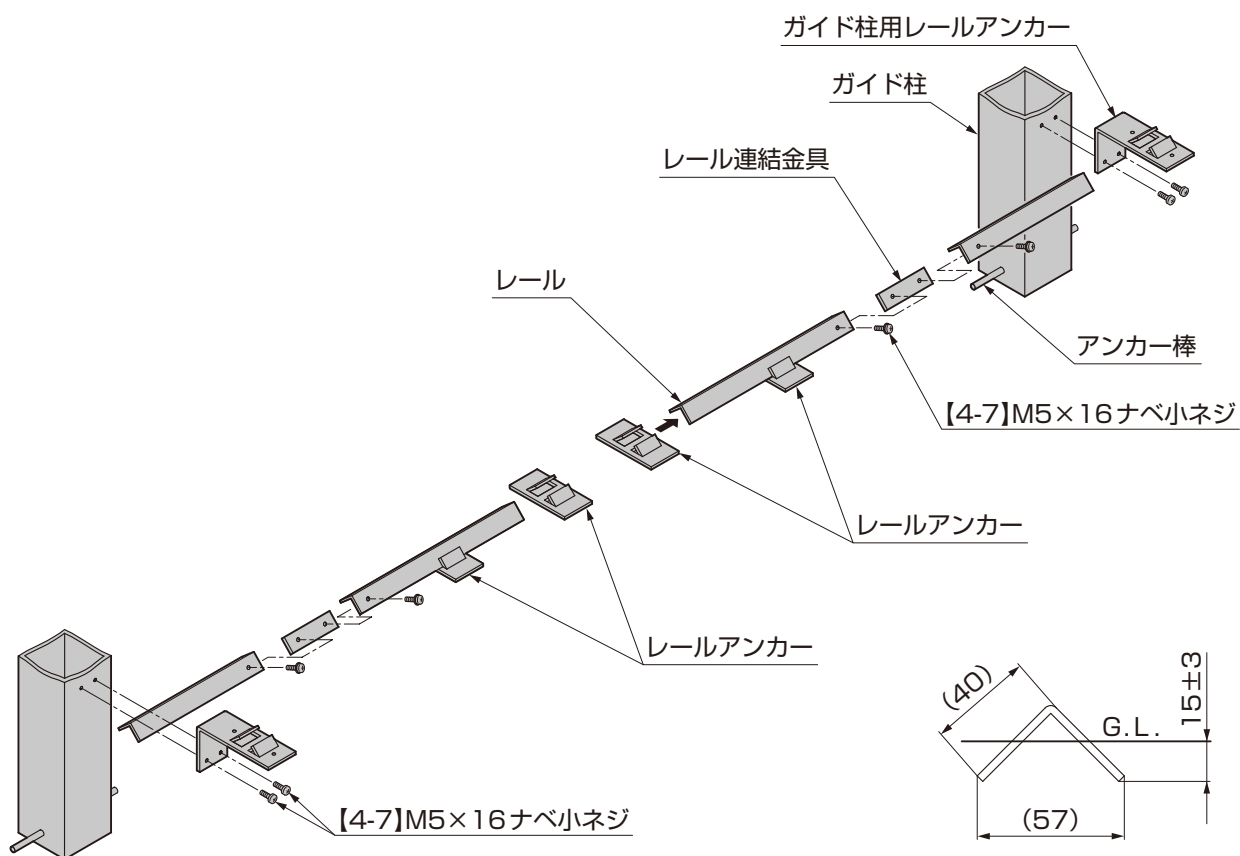


図3-1 レール断面図

- ①レール埋込み深さの施工精度を±3mm以内で施工してください。
- ②2分割のレールはレール連結金具と【4-7】で連結してください。
- ③レールをガイド柱用レールアンカーに差込んで、【4-7】で取付けてください。

ポイント

- レールの長さは「2. レール組付図」を確認のうえで使用ください。

4. ガイドローラーの取付け

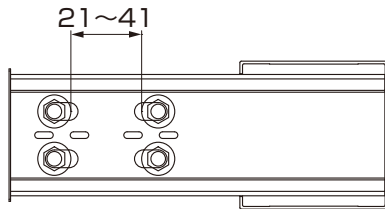


図4-1

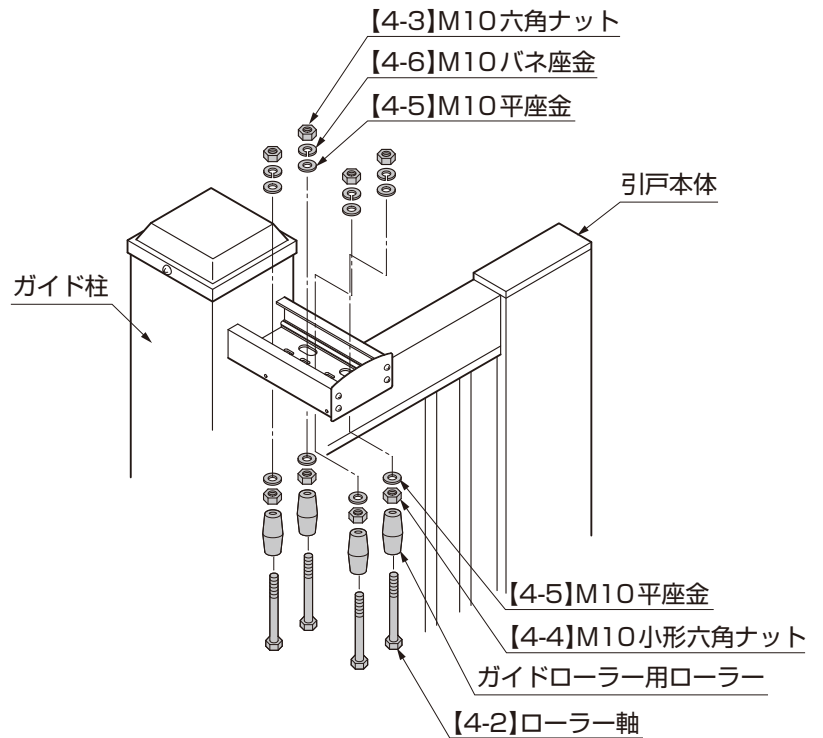


図4-2

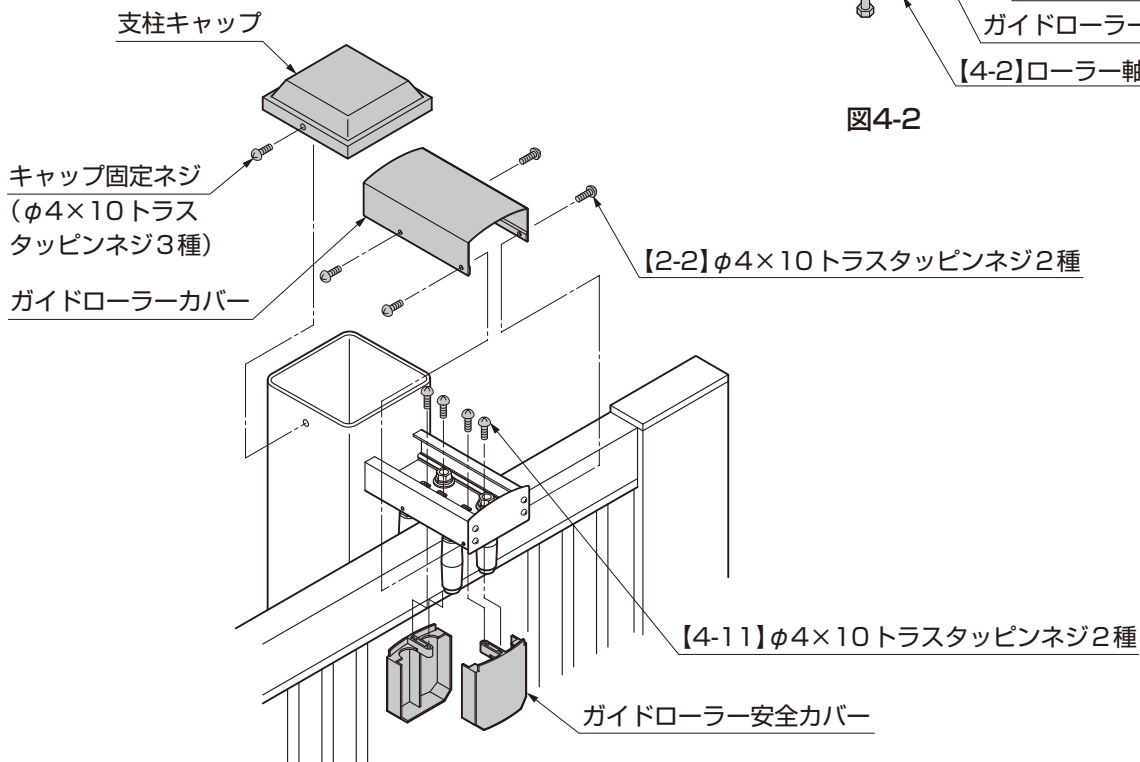


図4-3

①ガイド柱の埋込み位置、水平、垂直を確認し、固定してください。(図4-2参照)

補足

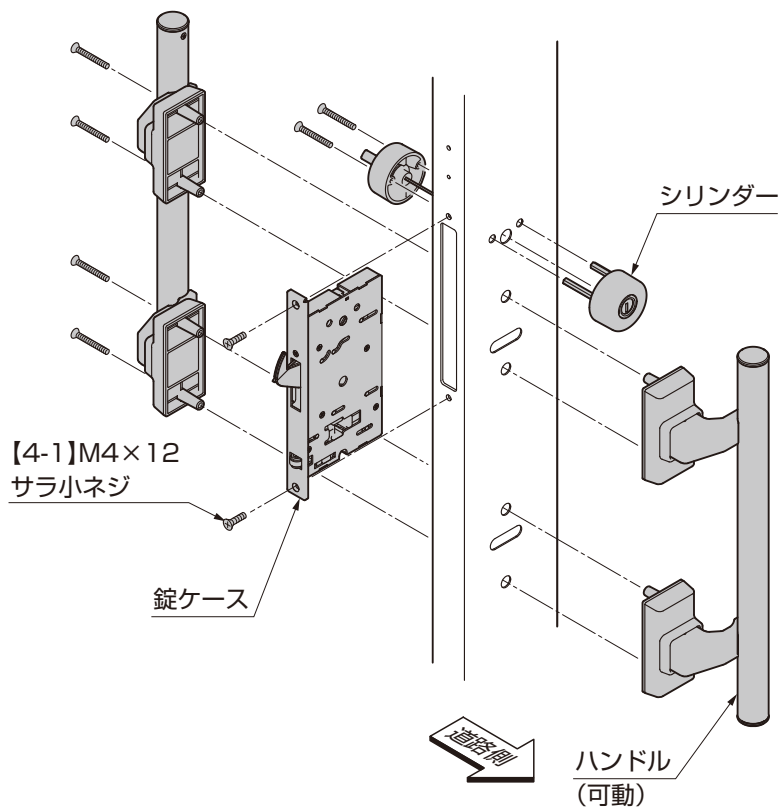
●ローラー類を仮組みし、引戸本体をレールに乗せ、本体の倒れ等を調整した後に本締めをしてください。(図4-2参照)

②ガイドローラー安全カバーを[4-11]で取付けてください。(図4-3参照)

③支柱キャップを一度はずし、ガイドローラーカバーを[2-2]で取付け、再度支柱キャップを取付けてください。(図4-3参照)

5. 錠の取付け

5-1 錠掛け側の組付け

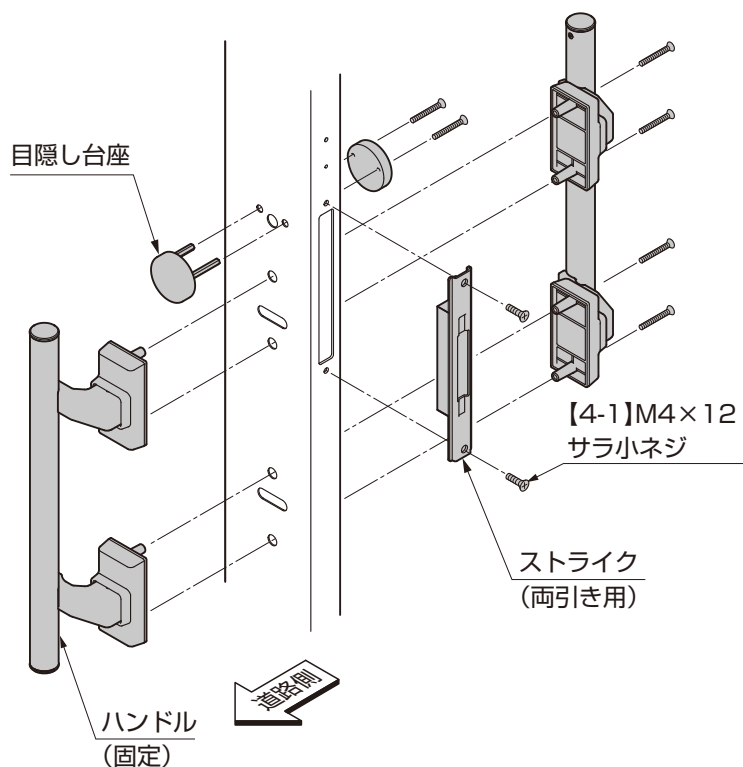


①錠ケースを挿入し、ハンドルとシリンダーを固定してください。

②錠ケースを【4-1】で固定してください。(図5-1参照)

図5-1

5-2 錠受け側の組付け

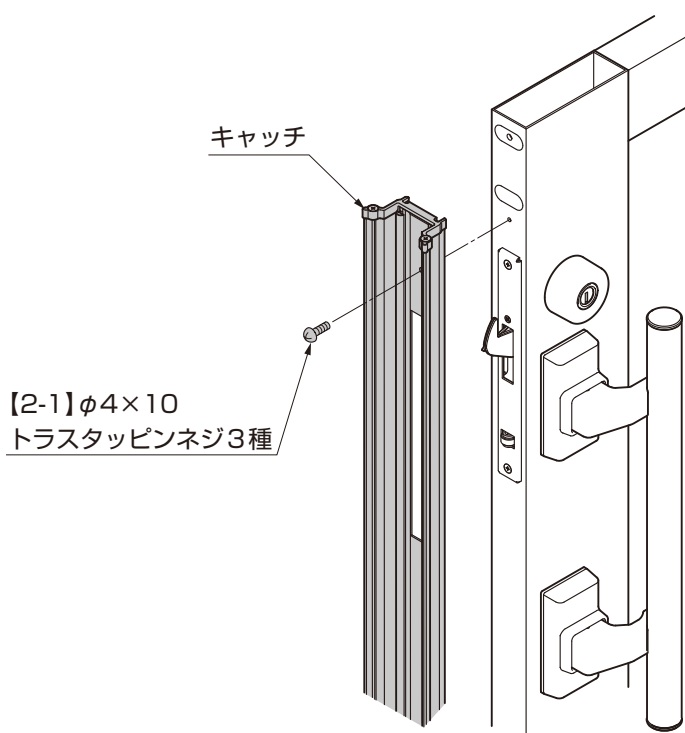


①ハンドル(固定)と目隠し台座を固定してください。

②ストライク(両引き用)を【4-1】で固定してください。(図5-2参照)

図5-2

6. キャッチの取付け

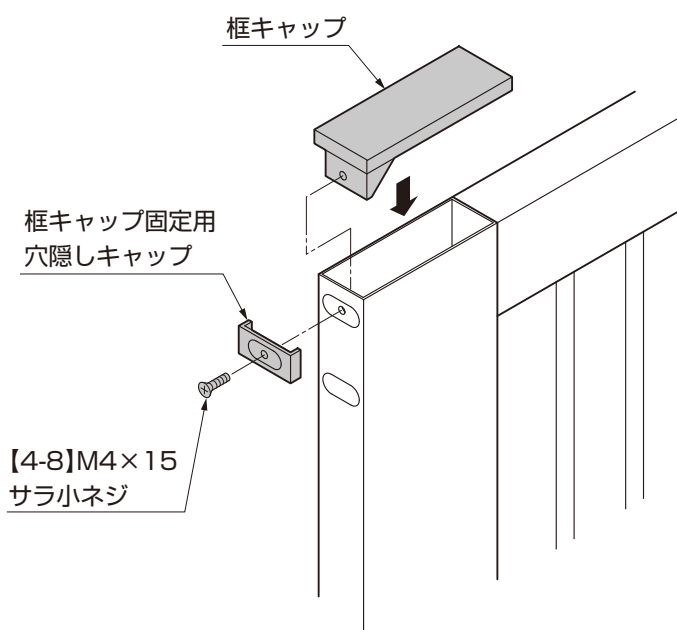


①キャッチを【2-1】で固定してください。

ポイント

●キャッチは掛け側に取付けてください。

7. 框キャップの取付け

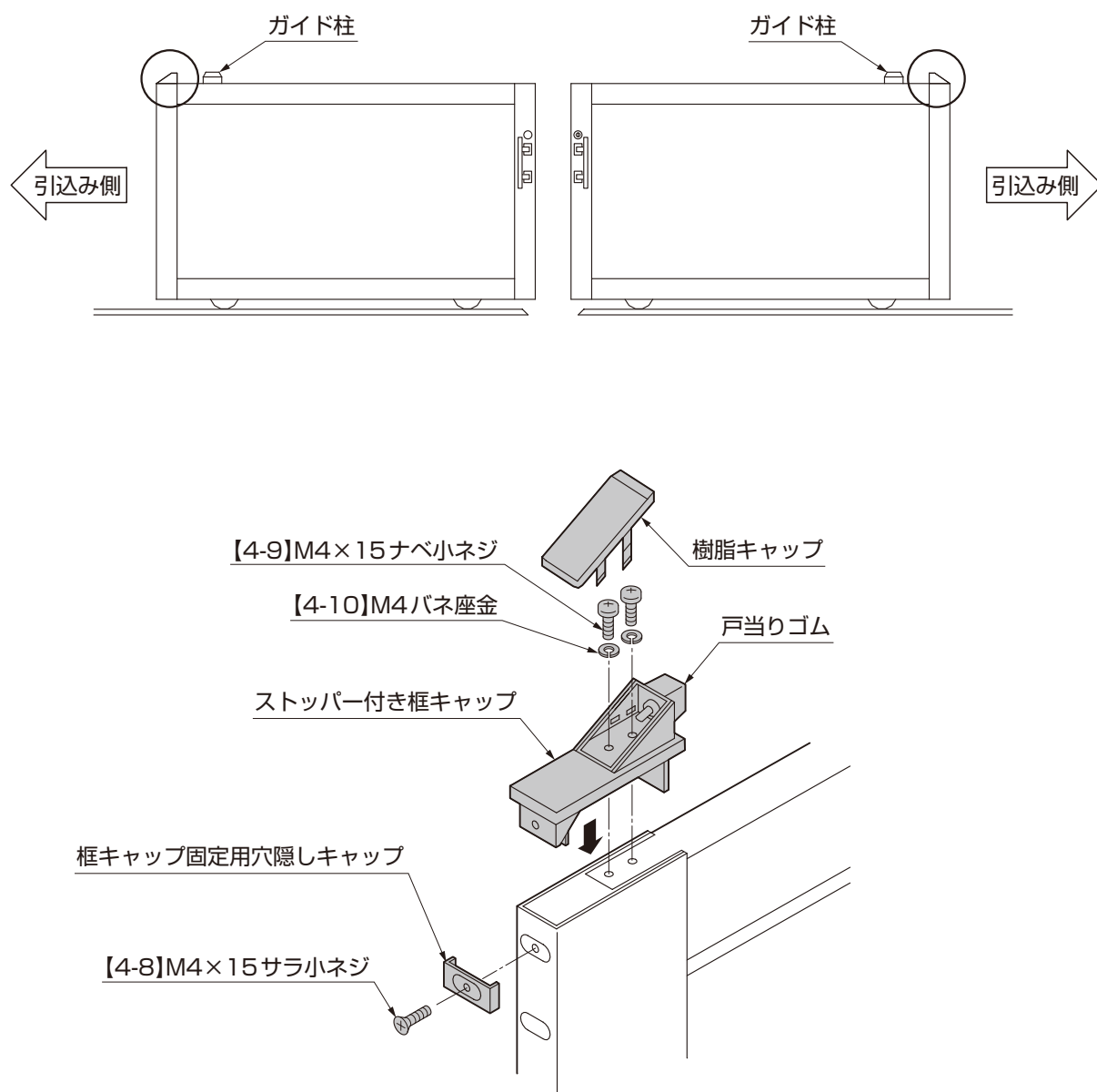


①框キャップを框キャップ固定用穴隠しキャップと【4-8】で取付けてください。

補足

●框キャップが取付けにくい場合は、框を軽く押しつぶすようにして取付けてください。

8. ストッパー付き框キャップの取付け



ポイント

●ストッパー付き框キャップは、引込み側の框に取付けてください。

- ①戸当りゴムを取付けているネジを軽く緩めてください。
- ②【4-9】、【4-10】でストッパー付き框キャップを取付け、戸当りゴム取付ネジを締め直してください。
- ③ストッパー付き框キャップを枠キャップ固定用穴隠しキャップと【4-8】で取付けてください。
- ④樹脂キャップを取付けてください。

9. 脱輪防止部品セットの取付け

9-1 下穴加工およびグリップアンカーの取付け

(1) 脱輪防止部品セットの位置合わせ

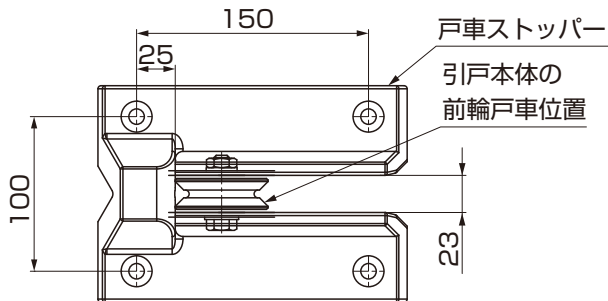


図9-1

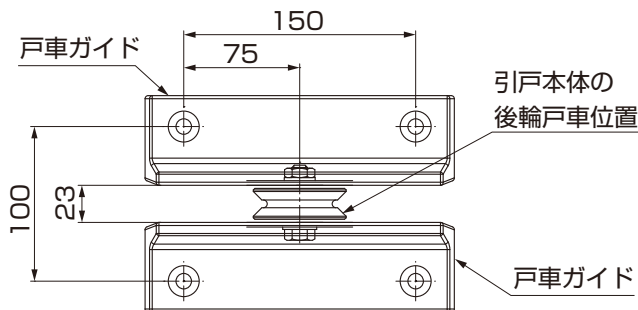


図9-2

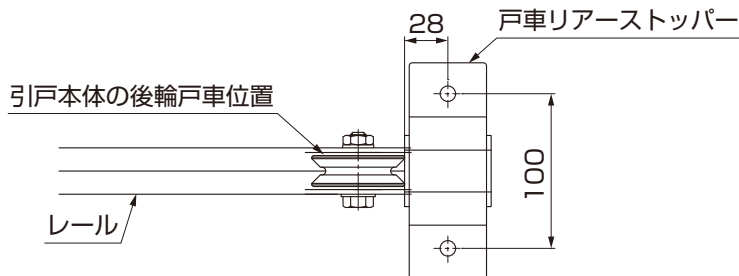


図9-3

①引戸本体を閉めた状態で引戸本体の戸車の位置にあわせて戸車ストッパーを位置合わせしてください。(図9-1参照)

②引戸本体を閉めた状態で引戸本体の戸車の位置にあわせて戸車ガイドを後輪の両サイドに位置合わせしてください。(図9-2参照)

ポイント

●引戸本体を動かしてスムーズに開閉する位置を確認してください。

③引戸本体を開けた状態で引戸本体の戸車の後輪の位置にあわせて戸車リアーストッパーを位置合わせしてください。(図9-3参照)

(2) 下穴の加工

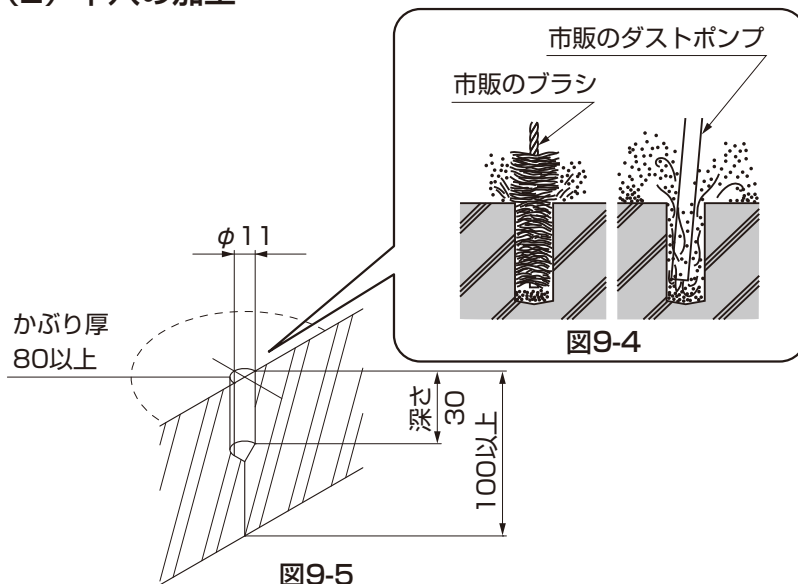


図9-5

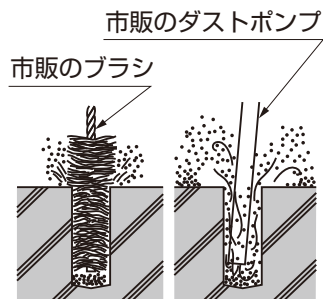


図9-4

①引戸本体を取外し、φ11のドリルで基礎部に必要な深さの穴をあけてください。(図9-5参照)

②市販のブラシとダストポンプで掃除をくり返し、穴の中の切粉を取除いてください。(図9-4参照)

ポイント

●アンカーの施工の基礎部の穴周囲のかぶり厚は80mm以上にしてください。
●タイル張りなどの仕上げをする場合は、必ず仕上げを行なう前に転倒防止セットの施工を行なってください。

(3) グリップアンカーの打ち込み

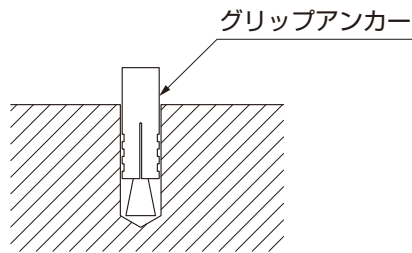


図9-6

- ①グリップアンカーを軽く叩いて挿入し、手ごたえが変わるまでハンマーなどで叩き込んでください。(図9-6参照)

9-2 脱輪防止部品セットの取付け

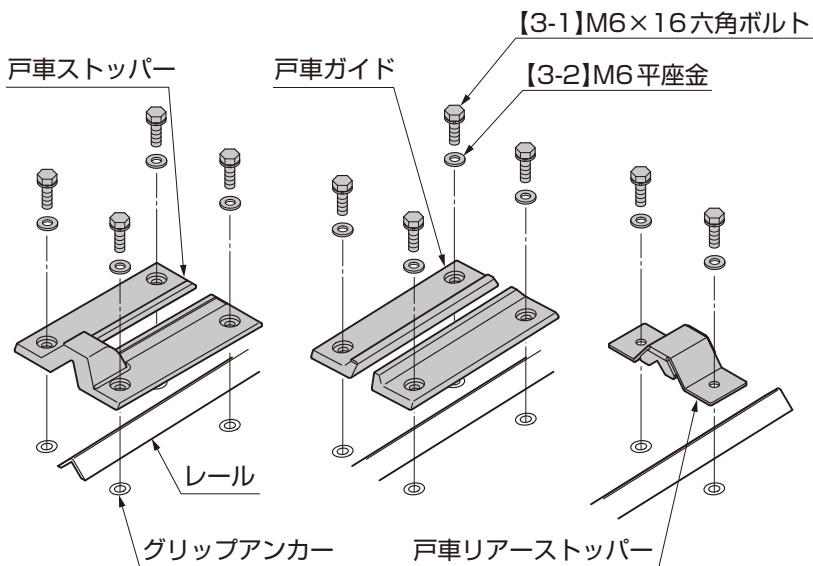


図9-7

- ①戸車ストッパー、戸車ガイド、戸車リアストッパーを【3-1】、【3-2】で固定してください。(図9-7参照)

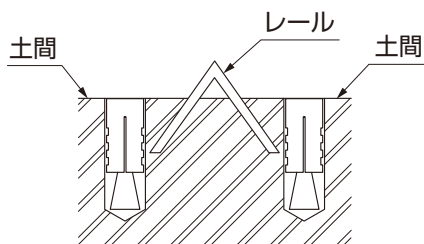


図9-8

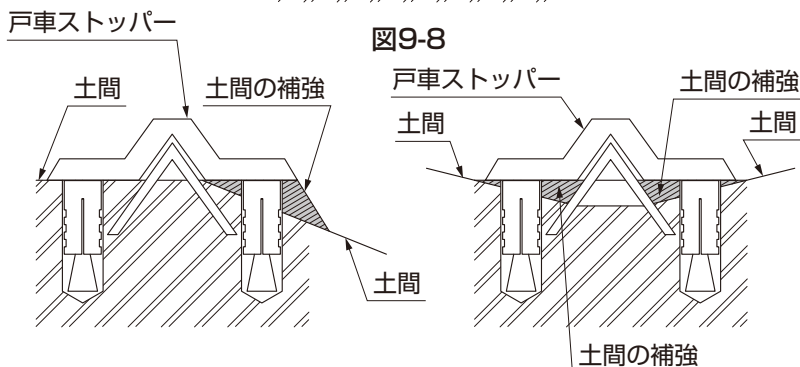


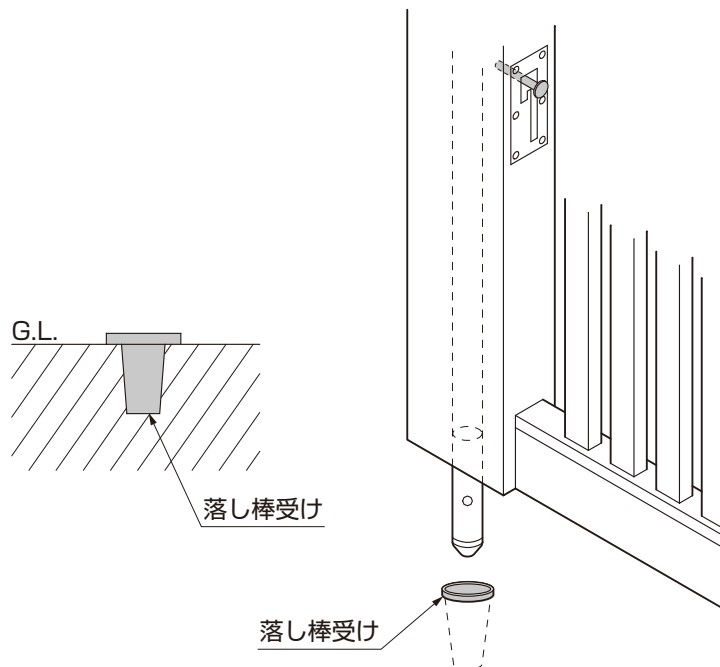
図9-9

図9-10

ポイント

- 脱輪防止部品セットを取付ける土間は、レールを挟んで左右が水平であることを確認してください。(図9-8参照)
- 水平ではない場合、土間を補強してから取付けてください。(図9-9、図9-10参照)
- 水平ではない土間に取付けた場合、脱輪防止部品セットが割れるおそれがありますのでご注意ください。

10. 落とし棒受けの取付け



①図のように落とし棒受けを取付けてください。

ポイント

- 落とし棒受けは本体建付調整後、埋込んでください。
- 落とし棒受けの埋込み位置は、「2. レール組付図」の図を参照してください。
- 落とし棒が落とし棒受けの中に確実におさまるように埋込んでください。

メモ

取説コード

T020

JZZ618179D
200904A_1007
201607E_1048